

② 節電する期間は？

節電する期間

7月23日（月）～9月7日（金）
平日 9時～20時

※お盆期間8月13日（月）～8月15日（水）は除く

9月10日（月）～9月14日（金）
17時～20時

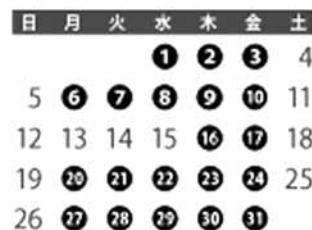
北海道では、7月23日（月）から9月7日（金）までの平日（お盆の8月13日（月）から15日（水）を除く）9時から20時までの間について、また、9月10日（月）から14日（金）までは17時から20時までの間、2010年度比7%以上の節電が要請されています。

そのほかの期間については「数値目標なし」の節電期間となりますが、数値目標の有無に関わらず日常的な節電習慣を身につけましょう。

7月



8月



9月



節電カレンダー

- 数値目標なしの節電
- 7%以上の節電

③ 電力消費量が多い電化製品は？

夏場の北海道で電力を消費している電化製品

- 1位 照明
- 2位 冷蔵庫
- 3位 テレビ

（※夏20時ごろの道内家庭において）

本州などの暑さの厳しい地域では、エアコンの普及率が80%を超えているため、電力消費量が多いエアコンの稼働抑制が効果的な節電対策です。経済産業省によると、エアコンの冷房温度を2℃あげて28℃に設定するだけで、家庭での電力消費は10%削減できます。

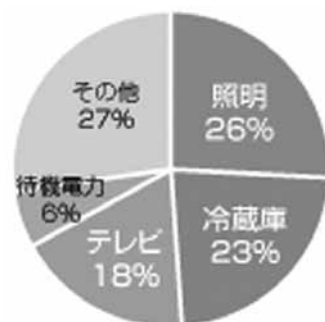
しかし、冷涼な北海道ではエアコンの普及率が10%程度にとどまるため、普段から使用するさまざまな電化製品の利用を工夫することが必要となります。なかでも電力消費量が多い「照明」「冷蔵庫」「テレビ」などを中心とした電化製品の節電方法を考えることが、効率的で効果的な節電の近道となります。

北海道の一般家庭において、夏の20時ごろの在宅世帯では、約700Wの電力を消費しており、照明、冷蔵庫、テレビで約7割を占めています。

また、外出中の場合でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力などで平均約200Wの電力を消費しています。

北海道の家庭における夏の20時ごろの消費電力割合

※資源エネルギー庁推計



家族みんなで夕食を食べたり、一つの部屋に集まって過ごしたりすることも節電につながります！

6%を占める待機電力。この機会に家中をチェックし、普段使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜きましょう！

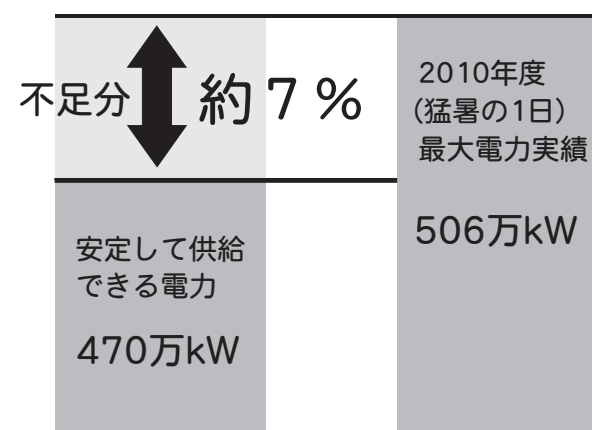


～2010年度比7%の節電を目指して～

環境にも 家計にも やさしい節電生活

なぜ節電が必要か？

【2010年度の需要実績との比較】



日本はこれまで、夏の一番暑い時期には、全国の発電所がフル回転で電気をつくって、電力の供給が「ようやく間に合う」という状態でした。

そして、今年の夏は震災の影響で、国内のほとんどの原子力発電所が停止しているため、全国的に電力不足が懸念されています。

北海道においても、泊原子力発電所の停止などにより電力供給量の低下から、電力不足が懸念されています。

北海道電力によると、この夏に安定して供給できる電力は470万kW。2010年並みの猛暑になると、電力需要が供給を上回り、停電が起こる可能性があります。

もし、停電が起こると...

電化製品が使えなくなることはもちろん、交通信号機や医療機器の停止など、私たちの日常生活に大きな影響を及ぼします。

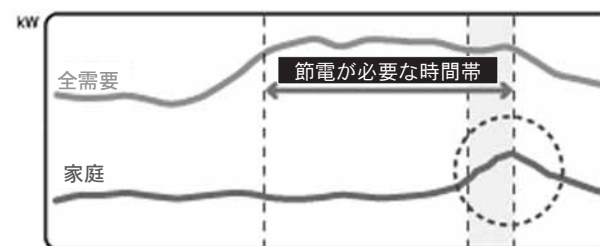
そうした事態を避けるためには

私たち一人一人が節電に取り組むことが必要です

節電のポイントを紹介

① 節電する時間は？

夏の北海道における平日の電気使用（イメージ）



※資源エネルギー庁推計 9時 18時 20時

節電する時間

9時～20時

家庭では特に

18時～20時

夏場の北海道における平日の電気使用量は、日中から夕方にかけて長時間ピークが継続することが特徴です。



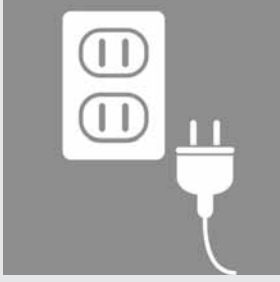



このため、電気使用量が全体のピークである9時～20時に7%以上の節電が必要です。家庭では特に、夕方以降（18時～20時）の時間帯の節電が効果的です。

節電生活スタート！～家庭での節電方法～

節電に取り組む際の目安として、節電効果を示したものです。7%以上の節電を目指して、できることから取り組みましょう！

※節電効果の記載値は、在宅世帯の日中の平均消費電力（20時：約700W）に対する削減率と削減消費電力の目安です（資源エネルギー庁推計）。また、削減率は小数点以下を切り捨てています。

※「照明」「冷蔵庫」「テレビ」「待機電力」の節電方法を行った場合、標準的な家庭（30アンペア・260kWh）では、1月あたり使用電力量は40kWh程度、電気料金は900円程度軽減できます。

<h3>炊飯器</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ◎タイマー機能を活用し、早朝に1日分まとめて炊いて、冷蔵庫で保存する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【削減率】 【削減消費電力】 3% 25W </div> <ul style="list-style-type: none"> ③炊飯器で4時間以上保温する場合電子レンジで温め直した方が少ない電力で済みます。 	<h3>温水洗浄便座</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ◎温水洗浄便座の保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用、又はプラグをコンセントから抜く <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【削減率】 【削減消費電力】 1% 9W </div> <p>ほかにも</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎使わないときはフタを閉める。 ③フタを開けばなしの場合よりも閉めた場合の方が少ない電力で済みます。 	<h3>待機電力</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ◎リモコンではなく本体の主電源を切り、長時間使わない機器はプラグをコンセントから抜く <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【削減率】 【削減消費電力】 3% 25W </div> <ul style="list-style-type: none"> ③待機電力とはコンセントにプラグがささっているだけで消費される電力のこと。長時間使わない機器はプラグを抜いておきましょう。 	<h3>テレビ</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ◎画面の明るさを抑え、省エネモードに設定する。 ◎見ないときは消す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【削減率】 【削減消費電力】 2% 15W </div> <ul style="list-style-type: none"> ③適正な明るさを確保するため、調整する前には画面を掃除しましょう。 ③短時間でもテレビの前から離れる時はこまめに消す習慣をつけましょう。 <p>ほかにも</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎消す時は主電源で切る。 ③リモコンで消すと待ち状態で電力を消費するため、主電源を切るようにしましょう。 	<h3>冷蔵庫</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ◎温度設定を「強」から「中」に変える。 ◎扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込まない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【削減率】 【削減消費電力】 2% 19W </div> <ul style="list-style-type: none"> ③冷蔵室は1～5℃、野菜室は3～7℃が適温です。庫内の温度をはかり、冷えすぎていけば温度設定を切り替えましょう。 ③庫内に物が少ないと効率的に冷やすことができるほか、物が探しやすいようになるため、扉を開けている時間を減らすことができます。 <p>ほかにも</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎熱い物は冷ましてから冷蔵庫に入れる。 ③カレーなど温かいものをそのまま冷蔵庫に入れると、庫内の温度が上がり、冷やすのに余分な電力が消費されます。 	<h3>照明</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ◎日中は照明を消す。 ◎照明の一部や使用していない部屋の照明を消す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【削減率】 【削減消費電力】 7% 50W </div> <ul style="list-style-type: none"> ③照明の点灯や消灯にはほとんど電力を消費しません。不要な照明はこまめに消灯しましょう。 <p>ほかにも</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎照明器具をこまめに掃除する。 ③照明のかさやカバーが汚れると明るさが低下します。 ◎節電型の照明に取り替える。 ③白熱電球は、電球型蛍光灯の約4倍、LED電球の約7倍もの電力を消費します。点灯時間が長い部屋の照明をLED電球に交換すると効果的な節電となります。
--	--	--	---	---	---

住宅用太陽光発電システム設置費補助金

住宅に太陽光発電システムを設置する方に対し、設置費用の一部を町が補助します。詳しくはお問い合わせ下さい。

申請期間 平成25年1月11日まで ※平成23年度補正予算分J-PEC補助の受け付けを終了している方は、7月31日まで
 補助金額 ◆平成24年度補助対象分は1kwあたりのシステム価格によって、補助金の単価が変わります。

1kwあたりのシステム価格	1kwあたりの補助金単価
47万5千円以下	3万5千円
47万5千円を超えて55万円以下	3万円

◆平成23年度補正予算分J-PEC補助を受ける方は、1kwあたり4万8千円（上限10kw未満）

対象者 ○町内の事業者と請負契約をする方
 ○国の補助金(J-PEC補助)を受ける方
 ○町税等に滞納がない方
 ○町内の自らが居住する住宅に対象システムを設置する方



【問合せ（申請先）】
 静内庁舎 生活環境課
 ☎43-2111（内線128）

日々の生活に無駄はありませんか？節電を機に生活を見直そう。

今、私たちは、電気に限らず大量のエネルギーに支えられて便利で豊かな生活を送っています。しかし、そのことが環境にさまざまな影響を与えていることも事実です。限りある資源を無駄にしないためにも「日々の生活に無駄や浪費はないか」この夏の節電を機に、日々の生活を見つめ直すことが重要です。一人一人が節電の意識を持ち、行動することで、大きな節電効果を生み出します。この夏、できることから始め、環境にも家計にもやさしい節電生活を送りませんか。

万が一、計画停電になった場合…在宅医療機器をご使用の皆さんへ

北海道電力では、万が一、電力不足になった場合、町内の一部において計画的に停電を実施する予定です。そのため、在宅で医療機器を使用されている方は、計画停電時の備えが必要です。

医療機器のバッテリー持続時間や酸素ボンベの残量の確認、予備電源の確保や交換など、かかりつけの医療機関や医療機器メーカー等に確認されるよう、対応をお願いいたします。

また、訪問・居住サービス事業者におかれましては、サービス利用者に対し、医療機器の使用や療養等に支障が生じないよう、注意喚起や対応状況の確認等にご配慮をお願いいたします。

※計画停電の実施予定やグループ割りについては、広報8月号と同時配布のチラシをご覧ください。

危険物業務従事者叙勲

瑞宝単光章（防衛功労）

提箸さんは、昭和44年に陸上自衛隊に入隊。栃木県宇都宮市の第12特科連隊で約10年間勤務した後、昭和55年から平成17年に定年退官するまで静内駐屯地に勤務し、リーダー整備や短SAM（短距離地对空ミサイル）を運用する部隊の小隊長として、部隊の訓練や点検業務などを担当し、防衛技術基盤の維持・発展に尽力されました。

「全国師団で初めて短SAMの射撃訓練の指揮をとり順調に実施できたことが思い出深い。今回の受章は、上司や先輩、同僚に恵まれ、家族が支えてくれたおかげ。感謝したい」と語りました。



提箸 房雄 さん（静内神森）

瑞宝単光章（消防功労）

藤谷さんは、昭和36年に静内町消防本部に入り、平成14年に日高中部消防組合消防署長で退職するまでの永きにわたり、消防体制の充実・強化に尽力されました。

「昭和40〜50年代は火災が多かった。なかでも、平成7年に発生したベニヤ工場の火災が印象深い。出火当日は暴風警報が発令されるほど風が強く、火の粉が街中に舞っていた。一番早く出動した隊で指揮をとり、長時間、地域の方と協力し、消火活動にあたった。今回の受章は、先輩や同僚のおかげ。長年支えてくれた妻にも心から感謝しています」と語りました。



藤谷 博之 さん（静内旭町）

春の褒章

藍綬褒章（統計調査功績）

原口さんは、軽種馬牧場三石ファームを経営する傍ら昭和35年から平成17年まで10回にわたって調査員として国勢調査に携わったほか、農林業センサスや北海道農業基本調査など、各種統計調査員として延べ51回の調査に従事しました。

「国勢調査は、三石舞地区を中心に親の代から2代にわたって担当した。今回の受章は大変名誉なこと。地域のみなさんの理解と協力があってこそ。調査期間中は妻に仕事を任せていたので、妻にも感謝しています」と語りました。



原口 輝昭 さん（三石美野和）

受章おめでとうございます

春の叙勲

瑞宝小綬章（教育功労）

桑島さんは、平成5年に静内高校長で退職するまで道内8校の高校で36年間教鞭をとり、教育の充実と学校運営に尽力されました。

「長年の教員生活で強く印象に残るのは、新設校として開設した年に赴任した富良野工業高校と北広島高校で学校づくりに励んだこと。最後の教員生活を送った静内高校では、進学指導に力を入れ、2年間に国公立大学への進学が二けた台に急増し成果をあげたことや、野球部が夏の全道大会に出場したことが思い出深い。今回の受章は、地域やPTAの皆さん、卒業生のご協力とお力添えがあったおかげで感謝しています」と語りました。



桑島 明 さん（静内こうせい町）

瑞宝双光章（郵政事業功労）

大城さんは、昭和38年に東静内郵便局に採用され、32歳で御園郵便局に転勤。その後39歳で東静内郵便局に戻り、翌年、局長に昇任し、平成19年に退職するまでの永きにわたり、地域の郵政事業発展に尽力されました。

「一番印象に残るのは郵政民営化。民営化の前は、独居の家に郵便がなくても週に一度、必ず顔を出すなど、地域の方と親密に接し、信頼関係があった。民営化は、郵政サービスの低下と地域の疲弊につながってしまった。非常に残念。今回の受章は、本当に光栄なこと。地域の皆さん、同僚や先輩、長年支えてくれた妻のおかげです」と語りました。



大城 勲 さん（東静内）

瑞宝単光章（消防功労）

佐藤さんは、昭和32年に静内消防団に入団。第4分団で昭和58年から分団部長、昭和62年から退団の平成9年まで分団長を歴任し、40年余りの永きにわたり、消防団員の指導育成・技術向上に努め、地域の防災活動に尽力されました。

「昭和60年に静内御園地区の一般住宅から出火した火災では、真っ先に現場に駆けつけ冷静かつ適確な判断と必死の消火活動により2階内部の焼失のみで、被害を最小限にとどめることができました。

「今回の受章は、団員や家族の支えがあってこそ。皆さんに感謝したい」と語りました。



佐藤 孝治 さん（静内農屋）